

主要教科 [国語]

図書コード・書名		H21	ぐりとぐら		691	もりのおふとん	
発行者・著者		福音館書店	中川 李枝子		福音館書店	西村 敏雄	
判型・ページ数・価格		20×27cm	28ページ	990円	22×21cm	24ページ	990円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	登場人物二匹のテンポのよい会話を楽しみながら音読でき、お話の面白さを味わうことができる。			色々な動物が出てくるので物語を楽しめ、最後は1枚の布団で仲良く眠ることから、仲間と仲良く過ごすことを味わうことができる。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A・B 段階		A・B 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	絵を見ながら読んだり聞いたりして、話の内容をつかむことができる。			布団を中心に描かれているので、視点を1つにして読み進めることができる。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	カステラを作る過程を学ぶことで、日常生活の料理に対して興味・関心をもたせることができる。			多くの動物が出てくることから、動物の名前や数に興味・関心をもつことができる。		
	(2) 主体性や創造性、思考力、判断力、表現力等の育成	たくさんの動物と一緒にカステラを食べる場面を想像し、思考力や想像力を働かせて物語を読み進めることができる。			動物たちの行動を通して、友達と共にくらすことについて考えることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	物語の中に繰り返し出てくる表現をメロディーにのせて表現することが可能である。			物語の筋が単純で徐々に動物が増えていくことから、紙芝居や劇化することができる。		
	(2) 全体の分量	繰り返して読みたくなる内容であり、年間を通して使用できる。			年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	算用数字以外はすべてひらがなで表記されている。挿絵は大きくはっきりと描かれている。			動物の名前はカタカナで表記され、それ以外の表現はすべてひらがなで表記されている。文章はページの下方部に書かれている。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	多色刷りである。			多色刷りである。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	12ポイントで書かれている。			12ポイント～24ポイントで書かれている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙は2mmの厚紙を使用している。横長の製本である。			表紙は2mmの厚紙を使用している。		
備考 (発行年)		(S38)			(H30)		

主要教科 [国語]

図書コード・書名		523	えっちらおっちら 日本だじゃれ旅		C01	書き方カード ひらがな	
発行者・著者		絵本館	中川たかひろ		くもん出版	志村直人	
判型・ページ数・価格		24×19.7cm	104ページ	1,760円	19.2×14.8cm	48枚	1,430円
採 択 基 準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	ダジャレによって都道府県の特徴や名産品を学ぶことができる。 関連教科 (社会)			ひらがなを読み書きする力、単語を表記する力をつけることができる。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B・C 段階			B・C 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	知らない言葉(単語・地名・祭り・食べ物)がでてくるとダジャレの意味がわからないので、解説したり、辞書で調べたりする必要がある。			マーカーペンが付属されており、ボードでひらがなをなぞりながら書く練習ができる。三角マーカーペンのため、にぎりやすい。しかし、ペン先が細いためはみだしたりするので、なぞる時に配慮が必要である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	自分自身の住んでいる都道府県だと生活経験と結びつきやすい内容である。行事や時事問題に合わせた内容の選択が可能である。			文字の横に動物や食べ物・道具などの絵が描かれており、興味をもって学習に取り組むことができる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	それぞれの都道府県のことを知ること、主体性をもって日常生活を送ることができる。			書き順が示されており、正しく書く練習ができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	行事などで校外へ出かける時などに、その都道府県のことに関心を広げることができる。			ひらがなに対して挿絵がついており、文字理解につながる。		
	(2) 全体の分量	47都道府県が順番に出てきており、年間を通して使用できる。			50音を順番に学ぶことができる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	漢字にはすべてルビが振られている。			挿絵ははっきりとした色彩の絵で見やすい。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	親しみやすい絵と文字で書かれている。レイアウトの仕方がどの順番で読んでいけばいいのかわかりにくい。			文字は書き順ごとに色が変わっており、繰り返し学習することで正しく書けるようになる。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	12ポイントで書かれている。			200ポイントの大きさと書きやすいサイズになっている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙にカバーを使用している。製本はやや弱い。			繰り返し使えるように厚紙を使用している。		
備 考 (発 行 年)		「だじゃれ」シリーズが発行されている。 (H25)			黒のマーカーペンが付属している。 (H11)		

主要教科 [国語]

図書コード・書名		541	日本語 オノマトペのえほん	
発行者・著者		あすなろ書房	高野紀子	
判型・ページ数・価格		20.4×21.2cm	47ページ	1,540円
採択基準	基本観点			
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	豊かな表現力につながるオノマトペに興味・関心をもつことができる。 また、語彙を豊かにし、文章表現についても学ぶことができる。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B・C・D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	生活場面の中で声に出して楽しむことができ、動作と言葉との関わりを実感できる。 馴染みのない表現は実際に動いてみたり体験したりする必要がある。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	日常生活の中で使える表現がたくさんあるので、生活経験と直接結びつけやすく興味・関心をもちやすい。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	毎日の生活の中であふれているオノマトペを知ることで、自分から表現しようという主体性を養うことができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	日常生活からオノマトペを探したり、オノマトペを使った作文を書くなど、実生活の中で発展させることができる。		
	(2) 全体の分量	テーマごとに言葉が集められているので、年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	漢字にはすべてルビが振られている。 柔らかな表現の絵で親しみやすい。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	やさしいタッチの絵と親しみやすい文字で書かれている。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	題字は120ポイント、オノマトペは27ポイント、説明は11ポイントで書かれている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙にカバーを使用している。表紙は厚紙を使用している。		
備 考 (発 行 年)		(R2)		